

◆編集後記

表紙の写真は私が撮影しました。学生さんのおしゃべり企画で話題になった場所（※別冊参照）ですので、よかったら探してみてくださいね。少しだけ加工してありますが、紅葉の美しさはそのままです。（Maru）

「本を持って出かけよう」では、矢立峠の遊歩道を歩きました。道の勾配が険しく足が筋肉痛になってしまいました。道の駅やたて峠から秋田よりに向かったところに入口があります。（Sasaki）

「先生インタビュー」では、読者と本を結びつけるためのアイデアを沢山いただきました。書架の間を歩いていると、「次はこれだよ」と、絶え間なく本たちから呼ばれているような気がします。（Suda）

弘前大学附属図書館報「豊泉」 第56号

発行日：令和4年11月30日

発行：弘前大学附属図書館

編集：弘前大学附属図書館広報委員会

〒036-8560

青森県弘前市文京町1

TEL 0172-39-3162

FAX 0172-39-3171

MAIL libpress@hirosaki-u.ac.jp



◆◆◆◆◆図書館員ちょこっとコラム◆◆◆◆◆

医学部分館の危機管理体制について

1. 水害対策

2022年8月3日と9日、弘前市は大雨に見舞われました。医学部分館付近を流れる寺沢川や通学路にあたる岩木川や土淵川も水位が上昇し一時避難指示が出される事態となりました。この寺沢川ですが、豪雨の際には医学部分館より約1.5km上流の土淵川放水路を通じて岩木川に迂回放水されることになっておりますが、川底に土砂が堆積していたり清水橋付近の土淵川との合流点でバックウォーターが発生した場合には急速に水位が上昇することがあります。また医学部分館付近では堤防のような盛土部分が無い掘込構造となっているため溢れた水の流れによっては川の方へ引き摺り込まれる可能性があります。さらに限られた川幅で流水量を確保するために深く掘り込んでありますので増水時に転落すると足が川底に届かずそのまま流される可能性があります。

医学部分館では国土交通省のサイト「川の水位情報 (<https://k.river.go.jp/>)」を通じて周辺の河川の水位状況を把握すると共にSNSを通じて寺沢川の水位状況を画像や動画で発信し来館者に注意を促しました。特に岩木川流域で避難指示が出された8月9日に公開した

動画は再生回数1万回を超えており、利用者の災害情報への関心の高さと共に利用者の安全を預かる責任の重さを改めて実感しております。

2. COVID-19 感染症対策

(1)施設環境部の指導の下、二酸化炭素量の変化から換気量を測定する方法で検査したところ、医学部分館では窓を密閉した機械換気環境でも一時間あたり1.5回以上の換気量があることが測定され、必要な換気が行われていることを確認しました。なお、館内でのマスク着用にご協力いただけない利用者が見られる場合には他の利用者のウイルス接触時間をできる限り短くするため、機械換気に加え自然換気を併用する場合がありますのであらかじめご了承ください。

(2)自動掃除機を導入し清掃を徹底すると共に清掃の自動化により捻出したマンパワーを机や椅子手すりなどの消毒作業を開館前、13時、17時に実施しております。

その他、地震や火災などの災害、停電や迷惑行為といったトラブル、J-アラートの発報時などの緊急事態についてもマニュアルを作成しておりますので、非常時には職員の指示に従うようお願いいたします。（ふじい まさつぐ）

【弘大図書館公式 twitter】

弘大図書館に関する情報を発信しています。お気軽にフォローしてみてくださいね。「#弘大図書館」のハッシュタグで、「弘大図書館のここが好き!」「弘大図書館でやってほしいこと」「豊泉読んだ」などのご意見・ご感想を募集中!



@HirosakiUnivLib



図書館ホームページ

【弘大図書館ホームページ】

2022年3月、弘大図書館ホームページをリニューアルしました。より見やすく、知りたい情報にたどり着きやすいようになりましたので、ぜひご活用ください。

<https://ul.hirosaki-u.ac.jp/>